

推進方針

1 農業振興の方向

管内の農業は、温暖な気候の海岸部と四万十川流域の台地部及び急峻な地形の山間部において、施設野菜及び露地野菜、水稻、大豆、果樹、畜産等地域の特性を活かした多様な営農が展開されています。しかし、農業への新規就業者は少なく、高齢化による労働力不足は、耕作放棄地の増加や生産の停滞、地域の活力低下等の問題を招いています。

このような情勢の下で、地域の農業・農村の健全な発展を図るために、「高知県産業振興計画」に基づき、「生産力の向上と高付加価値化による産地の強化」、「中山間地域の農業を支える仕組みの再構築」、「流通・販売の支援強化」、「生産を支える担い手の確保・育成」及び「地域に根差した農業クラスターの形成」に取り組んでいきます。

海岸部では、ミョウガやピーマン等の施設野菜を中心とした農業生産が行われていますが、景気の低迷や産地間競争の激化に伴う価格低下、生産資材や燃油の高騰等による経費の増大などにより農家の経営は依然として厳しい状況にあります。一方、レンタルハウス事業などを活用してUターンによる新規就農者が継続して確保されており、栽培意欲の高い産地となっていますので、今後は、栽培技術の向上と併せて経営感覚に優れた自立的な農業経営ができる農業者の育成に取り組んでいきます。

台地部では、ニラを中心とした施設野菜とショウガやピーマン等の露地野菜、水稻・大豆などの土地利用型作物などが栽培されています。また、山間部では、シシトウ、ナバナなどの露地野菜や、イチゴ、スプレーギクなどの施設野菜・花き、ユズ・クリなどの果樹、さらに、特用作物の茶、薬草など、地域特性を生かして多種多様な作物が栽培されています。また、農業機械の共同利用などを行う集落営農や地産地消、農産物加工などの6次産業化の推進により地域の活性化への取り組みも行われています。

このため、施設野菜及び露地野菜と水稻、果樹などの組み合わせによる複合経営の安定のために、生産技術や経営管理能力の向上を図るとともに、環境保全型農業の推進に取り組んでいきます。

さらに、集落営農組織の維持・発展に向けた取り組みや高齢者や兼業農家を中心とした地産地消の活動、地域資源を活用した農産物加工等の6次産業化を推進します。

2 重点推進事項及び課題

(1) 重点推進事項

【生産力の向上と高付加価値化による産地の強化】

①次世代こうち新施設園芸システムの普及推進

炭酸ガスの施用やハウス内環境制御などの新技術の導入・定着により、高収量・高品質な生産が継続できる園芸産地の育成を図っていきます。また、本年8月から栽培が開始される次世代園芸施設でのトマト栽培の生産及び経営の安定のために、関係機関と連携して支援していきます。

②環境保全型農業の推進

天敵利用等によるIPM技術や耕種的防除技術等による環境負荷を低減した取り組みを通じて、安全で安心な農産物生産と地域づくりを推進していきます。

③園芸品目別総合戦略支援

基幹品目である施設ニラ、ミョウガ、露地ショウガなどにおいて、篤農技術の普及や新技術の導入などを通じて、収量の増大と品質の向上を図り、産地の維持発展に努めます。

④水田農業の振興

県内ブランド米である「仁井田米」を全国ブランドに育成することを目指し、産地全体の品質を向上させるとともに、生産から販売までの取り組みを検証しながら、ブランド化に向けた戦略づくりと実践に向けた支援を行います。また、県内最大の畜産地域として、耕畜連携による四万十町のブランド豚「米豚」や肉用牛へ供給する飼料用米、肉用牛へ供給するWCSの安定的生産体制を確立します。

⑤6次産業化の推進

地域資源を活用した商品開発や販路拡大、原料の確保、農産物加工など、6次産業化の取り組みによって拠点ビジネスづくりを進め、農家所得の確保や雇用の創出を目指します。また、県地域アクションプランに基づいて整備されたJA四万十みどり市手づくりキッチンを核とした地消地産の取り組みを支援します。

【中山間地域の農業を支える仕組みの再構築】

①集落営農の推進

集落営農組織の発展のために関係機関の支援体制の強化や組織リーダーの育成のための研修会を開催し、農地の集積や法人化、作業受委託の拡大など、集落営農組織のステップアップに向けた取り組みを支援し、集落の農地を守り次世代に継承できる集落営農組織を育成します。また、構成員の高齢化などによって、組織の維持・運営が困難となってきた集落営農組織に対しては、周辺の集落営農組織との統合を誘導していきます。また、営農支援センター四万十や昨年設立された農楽里などの広域活動を支援します。

②中山間農業複合経営拠点の整備促進

集落活動センター等を核とした複合経営拠点の整備とその農業部門での経営安定のため、関係機関との連携を密にして支援を行っていきます。

③地域特性を生かした品目の生産振興や所得向上への取組支援

窪川地区では、基盤整備が進んで土地利用型作物の栽培が可能な地域特性を活かして、露地野菜の生産振興と農家所得の向上を図ります。

大正・十和地域の主要品目であるシシトウやユズ、クリの生産振興と、スプレーギク農家の経営安定を図ります。また、薬草（セネガ）などの生産拡大にも取り組んでいきます。

【流通・販売の支援強化】

①ブランド化の推進

消費地との交流活動や産地・品目の良さをPRした販売促進活動等により、四万十ブランドのファンづくりに向けて、関係機関と連携して支援を行っていきます。

②販路開拓、販売体制の強化

【生産を支える担い手の確保・育成】

